※必ず応募事前登録と同じ内容を記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請分野 | 申請分野にチェックを入れてください。  未来社会革新加速　 物質・生命融合　  情報・生命・医学融合  ライフスタイル革命学際　 アジア・環太平洋未来創造  グローカル課題解決推進　 学際的基盤研究 | | | |
| 応募区分 | 該当する募集対象区分にチェックを入れてください。  岐阜大学大学院博士課程への入学時期  ２０２５年４月入学（予定）　　 ２０２５年１０月入学（予定） | | | |
| 氏　　名 |  | | 生年月日 | ／　　／ |
| 現在の所属・学年  または最終学歴  （他大学申請者は、大学名から記載） | 大学　　　　　　研究科　　　　　　　　専攻　　　年 | | | |
| 岐阜大学学籍番号  （岐阜大学在籍者のみ） |  | | | |
| 進学予定研究科等  (JDPの場合は、JDPにチェックしてください。) | 研究科　　　　　　専攻　　　　年  JDP（ジョイント・ディグリー・プログラム）である。 | | | |
| 連　絡　先 | 携帯番号 |  | | |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  | | |
| 卓越大学院プログラム等の在籍状況 | 該当しない  在籍中又は在籍予定のプログラムがある場合は、該当するプログラムにチェックしてください。  〇卓越大学院プログラム　 GTR　 DII　 CIBoG　 TMI  〇博士課程リーディングプログラム　 実世界  〇その他（　　　　　　　　　　　　　）※プログラム名を記載してください。 | | | |
| 支援期間中の  奨学金等受給状況 | 支援期間中に、日本学術振興会の特別研究員／国費外国人留学生制度／母国からの奨学金制度奨学金／生活費に十分な水準の奨学金※1　のいずれかの受給が  決定（内定）していない  決定（内定）している(「決定（内定）している」場合は、原則として応募できません。）  ※1　生活費に十分な水準の奨学金…240万／年　以上を受給する奨学金 | | | |
| 支援期間中の  収入制限※2の該当 | 収入制限に、  該当しない  該当する （「該当する」の場合は、申請ができません。）  ※2　収入制限…所属する大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準（240万円/年）で、　給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生は、当事業に応募できません。 | | | |

|  |
| --- |
| 【研究題名】 |

【研究計画】

（１）研究の位置づけ

**【申請書の作成にあたって】**

募集要項をよく読み、指導教員ともよく相談して、本支援期間中で実施する研究計画及び目指す研究者像について以下の申請書に明記ください。なお、原則審査には応募者の専門と異なる教員も入ります。専門外の教員にも分かるような内容、表現で記入してください。

また、【様式2-E】の内容に基づき、採択者の中から採択初年度における挑戦的RESEARDENTが決定されます。挑戦的RESEARDENTの審査に関しては募集要項の別紙2を参照して下さい。

**※提出時、このテキストボックスは削除してください。**

**【研究計画】**

（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は**１頁**に収めてください。様式の変更・追加は不可。10．5ポイント以上の文字で記載すること(以下同様)）

(1) 研究の位置づけ

博士課程の本支援期間中で取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

**※提出時、このテキストボックスは削除してください。**

【研究計画】

（２）研究目的・内容等

**【研究計画】**

（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は**２頁**に収めてください。様式の変更・追加は不可(以下同様)）

(2) 研究目的・内容等

　① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。

　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

　④ 所属研究室の研究活動との関連において、提案者が担当する部分を明らかにしてください。

　⑤ 研究計画の期間中に異なる研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

**※提出時、このテキストボックスは削除してください。**

【研究遂行力等の自己分析】

**【研究遂行力等の自己分析】**

※各事項の字数制限はありませんが、全体で**１頁**に収めてください。

本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における「自身の強み」について、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。本事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材を育てることを目的にしています。その目的に関して、すでにこれまでの活動経験から得た能力等があればこの欄に記載ください。

**※提出時、このテキストボックスは削除してください。**

【目指す研究者像等】

**【目指す研究者像等】**

※各事項の字数制限はありませんが、全体で**１頁**に収めてください。

本事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材を育てることを目的にしています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」と「博士号取得後の**キャリアパス**」(2) 「キャリアパス実現のため必要と考えている要素」と「実施予定をしている活動や経験」を記入してください。特に、国際共同研究・融合研究を行うことや、異分野の国内外の多くの人々との接点を持つことを推奨しています。それらへの取組意欲や具体的な活動などについても記載してください。

**※提出時、このテキストボックスは削除してください。**

下記より１つ選んでチェックをしてください。**（全員必ずどちらかにチェックしてください）**

２０２５年度挑戦的RESEARDENTに申請しない。

２０２５年度挑戦的RESEARDENTに申請する。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

【挑戦的RESEARDENT申請書】

以下は、挑戦的RESEARDENTに申請するにチェックをした学生のみ記入してください。上記の「申請する」にチェックせず下記に記述した場合は、審査をしません。なお、下記の記述内容は採択合否には影響しません。

※提出時、このテキストボックスは削除してください。

**【挑戦的RESEARDENT申請書】**

※図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は１頁に収めてください。記述にあたって募集要項別紙2を参照して下さい。

本事業では、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究を推し進めるRESEARDENTを高く評価します。これらを念頭におき、国際機関、海外を含む研究機関、企業、非営利団体、公的機関等との共同研究もしくは異分野の研究者との融合研究領域等における活動実績もしくは今後の取り組み意欲に関し、なるべく具体的に記載してください。また、イノベイティブな研究を基に、起業した実績がある、あるいは起業を考えている場合も記入してください。

**※提出時、このテキストボックスは削除してください。**